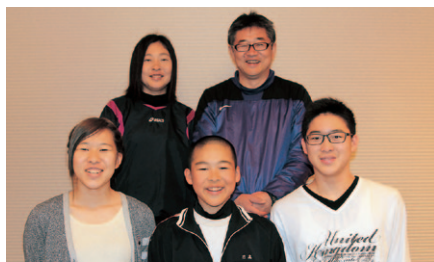




バックヤードはご主人の趣味である釣りを楽しむためのスペース。多目的に使う「趣味部屋」から外部へ出ると冷凍庫室があり、釣り道具も収納する。釣り道具を洗ったり、魚をさばく、外流しも設けた。

### Family Voice



これまでのライフスタイルに、今後の家族の暮らしや楽しみを盛り込みました。自然いっぱいの住空間と環境の中、仕事に子育てにますます頑張れそうです。

### 施工会社メッセージ

郊外に東西に長い比較的広めの敷地を確保し、豊かな自然エネルギーを利用しようという「ひらやパッシブ」。昨年、パッシブデザイン協議会のコンペで優秀賞を受賞した「始良の家」をベースに、延床面積をコンパクトにし、温熱性能をアップした、自然木の提案する郊外型のプロトタイプ住宅です。



建築工房 自然木(じねんもく) 取締役 村田 義弘さん

### 建築工房 自然木(じねんもく)

【所在地】鹿児島市永吉2丁目29-3  
 【建設業許可番号】鹿児島県知事許可(般-25)第14664号  
 【取扱業務】注文住宅、リフォーム、店舗、マンション、ウッドデッキ等ガーデンリフォーム、植栽工事、古民家再生  
 【取扱工法】木造軸組在来工法、コンクリート木造軸組混構造、RC造、鉄骨造

▲本実例をもっと知りたい方・  
 ▲施工会社へのお問い合わせ先  
**TEL099-812-5701**  
<http://jinenmoku.life.coocan.jp/index.html>  
 E-mail [jinenmoku@nifty.com](mailto:jinenmoku@nifty.com)  
 ※「かごしまづくりの本を見た!」とお問い合わせください。

**庭と住空間との連続性を大切に  
 家族のスタイルを生かすプラン**  
 プランは奥様が中心に、ご家族の個性を考え、じっくり練り上げた。これまでのライフスタイルを考慮しつつ、使い勝手や将来の暮らし方を想定。大きなポイントは、運動部で頑張る子供たちの練習場となる「庭」と、住空間とのつながりだ。リビングからフラットに続くウッドデッキを介し、庭への連続性を持たせている。暮らしの中心となるLDKはゆったりとした空間を確保。昔ながらの茶の間をイメージさせる畳敷きのリビングは、寝室にも使えるよう押し入れがあるのも旦那様ならでは。  
 また、ご両親の来訪にも対応できる和室の他、釣り好きのご主人のための小部屋を設け冷凍庫と釣り具を収納。魚を捌いたり、道具を洗う外流しを設置。  
 2階はロフト的な造りの子供部屋。奥様曰く「タイトな造りで集中しやすい環境。勉強や一人になりたいときにこもる部屋です」。スムーズな家事動線や収納スペースの確保で使い勝手も優秀。子どもたちが独立した後も、夫婦で趣味を楽しめるようなスタイルづくりが盛り込まれている。



庭とリビングをつなぐゆったりとしたウッドデッキには、夏、ヨシズやスダレをかける木製フレームを設けている。朝夕、シャワーを使う運動好きのご家族には、太陽熱利用のガス給湯器は省エネ効果が大きい



キッチンからの視界が広く、家事をしながら家族全員の気配を確認できる。勝手口からウッドデッキへも出られ、洗濯時やゴミ捨てなどもスムーズ



南側の大きな開口からの陽射しで冬はとて暖かい。深い軒の出と勾配天井の採用で、夏の遮熱、排熱がスムーズに行える計画だ。正面の板壁には、ご主人の故郷屋久島の地スギを使用



2階は収納と子ども部屋に利用。とてもコンパクトな落ち着いたスペース。書棚には家族の好きな本や漫画をおさめ、読書部屋としても活躍中



主寝室も和室をリクエスト。持ち込み家具の寸法に合わせた小部屋は書棚やデスクが作り付けられ、クローゼットと書斎を兼ねる



郊外に日当たりのよい広めの敷地を選択し、東西に延びる軒の出の深いシンプルな平面計画。通風・採光に有利な形状は、冬の陽射しを取り入れる窓開口も大きく取る

## 郊外の日当りの良さを生かした ひらやタイプのパッシブデザイン

### 建築工房 自然木(じねんもく)

- 木造軸組在来工法 ●鹿児島市 ●H邸(夫婦+子ども3人)
- 本体価格(〜1500万・1500〜2000万・2000〜2500万・2500万〜・要問い合わせ)

「喘息やアレルギーを持つ子供がいて、借家時代は発作も多かったんです。だから素材だけでなく、エアコンなどを極力使わないパッシブデザインの家にとても興味を魅かれました」とご主人。基本的な断熱性能を確保して、郊外の豊かな自然エネルギーを有効利用するパッシブデザイン。軒の出を深くとり、ハニカムサーモスクリーン、通風雨戸、ヨシズを設置して、夏冬ともに、出来るだけ空調機に頼らない生活が実現できそうです。  
 今回は、通常使う宮崎諸塚や出水の産直木材に加え、ご主人の故郷、屋久島の地スギを仕上げの一部に使用した。屋久島の地スギは油分が多く、香りが良いのが特徴で、ご主人からは「実家の懐かしい香りがするんですよ」と笑顔がこぼれる。実家のお母さんも喜んでいるそうです。



■DATA..... 土地面積/351.34㎡(106.28坪)  
 延床面積/106.81㎡(32.31坪)  
 1階面積/84.46㎡(25.55坪)  
 2階面積/22.35㎡(6.76坪)  
 用途地域/指定なし

■SCHEDULE 設計期間/24か月  
 建築期間/7か月

### こんな家が欲しかった 私たちが希望した3つのこと

- 1 リビングを畳敷きに**  
 茶の間のように使える、多目的なスペース。畳敷きのリビングは、寛ぎながら、そのまま、家族が1人で寝ることもあります。リビングに布団を入れる押入を設けました。
- 2 両親のための客間を設ける**  
 屋久島と福岡で暮らすそれぞれの両親のため、客間として和室を設けました。将来独立する子供たちが、帰省したとき利用する部屋にもなります。
- 3 庭と住空間とのつながり**  
 運動部で頑張る子供たちの練習用の広い庭。チームメイトも訊ねてきます。ベンチも作り付け、仲間や家族みんなで集える空間にしました。